

1 統合の前後における取組

- ◆これまでの統合に当たっては、児童が新たな環境に円滑に移行できるよう、関係校において様々な工夫をしてくれています。
- ◆例えば、開校前に、教員同士で統合後の教育活動について話し合ったり、合同行事等を行い児童が段階的に関係を深めることができるようにしたりしています。
- ◆関係校が開校前の取組を検討する際には、検討委員会で出された意見も参考にするとともに、「開校だより」を発行し、保護者・地域の皆様へ統合に向けた両小学校の児童の様子や検討委員会で提出された意見書の内容に関しての進捗状況などを紹介したりすることもあります。

〈過去の取組例〉

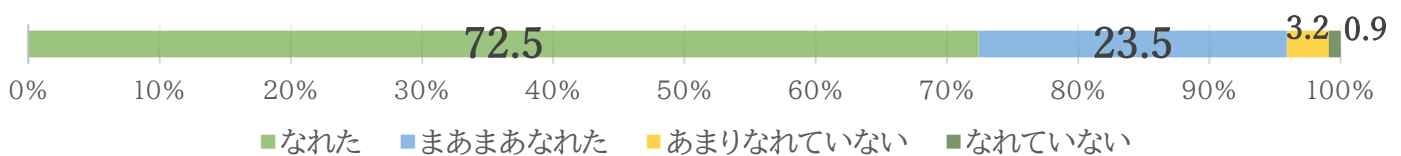
- 新しい通学路の要注意箇所についての注意喚起
- 合同での滝野宿泊学習・遠足・校外学習等の実施
- 両校児童がそれぞれの通学路を歩き、「ヒヤリ」とする場所を発見・分類するほか、地域の「お気に入り」の箇所を探し、大きな地図にまとめる
- 春休み中の事前の校内見学

2 統合後アンケートにおける主な意見

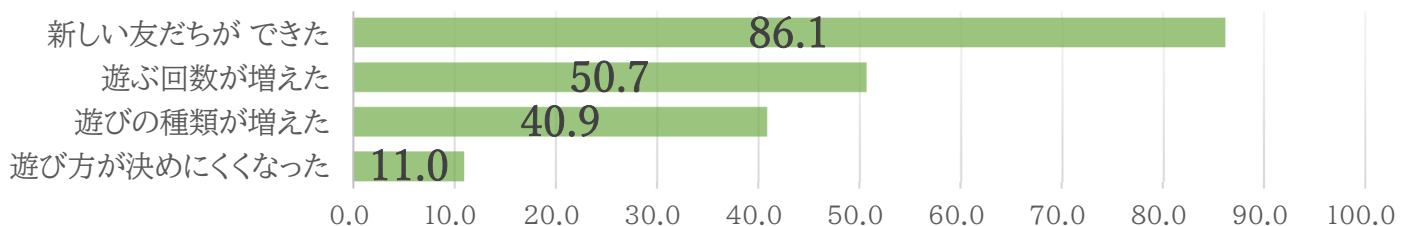
- ◆統合校の開校後の子どもたちの様子や変化などを把握し、配慮すべき点や今後の取組の参考とするために、児童・保護者や教員へアンケートを実施しています。
- ◆統合後の子どもたちの変化を把握するための参考として、代表的な設問を抜粋して掲載しています。

〈児童の回答〉 ※石山緑小学校でのアンケート結果

- 新しい小学校にはなれましたか

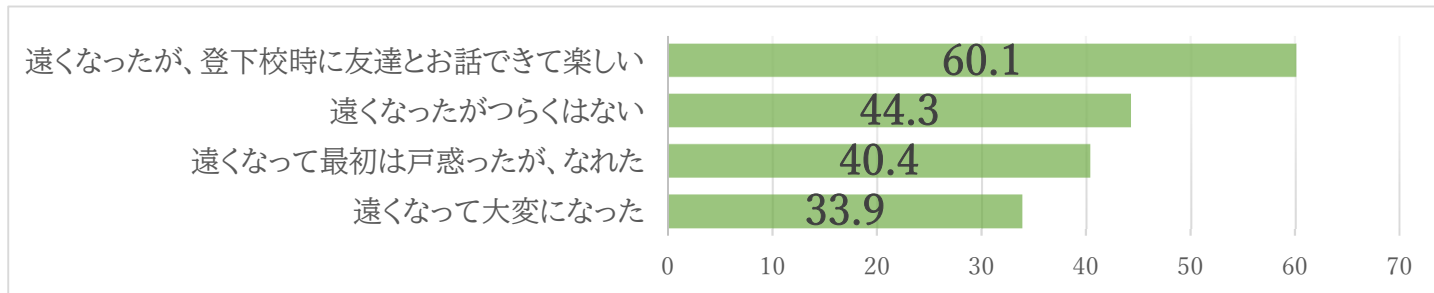


- 人数が増えたことで、友だちや遊びについてどのように変わりましたか。(複数回答 上位抜粋)



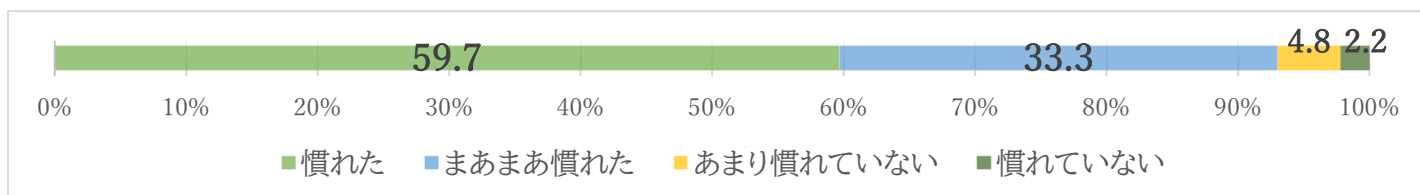
● 通学についてどのように感じていますか(学校まで遠くなった児童※限定 複数回答)

※学校まで遠くなったと答えた児童の割合:53.5%

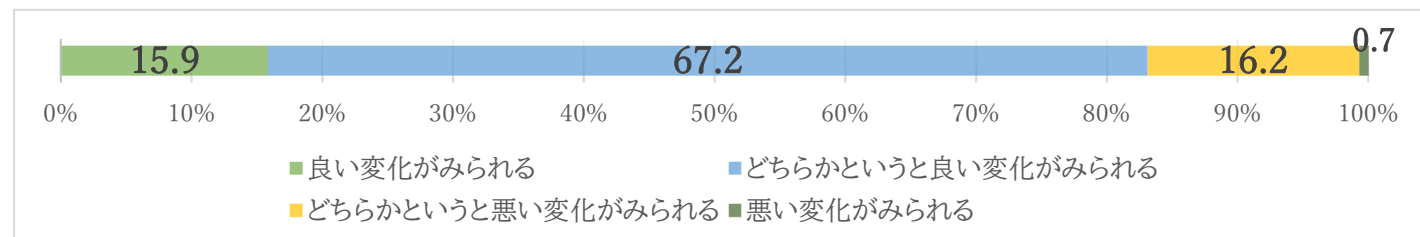


〈保護者の回答〉

● 通学路が変わりましたが、お子様は慣れたように感じますか。

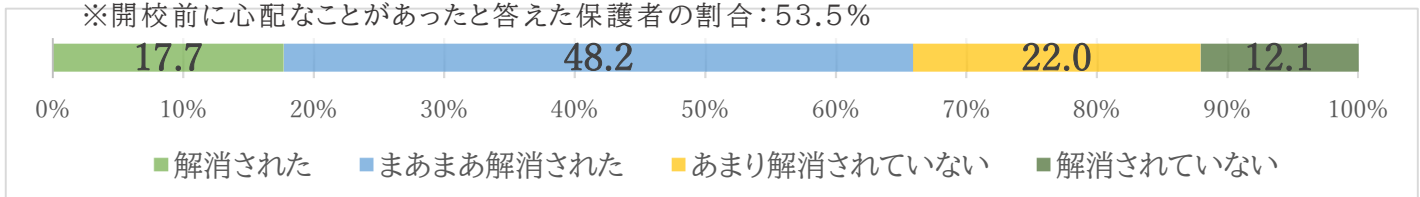


● 児童数増加に伴い、運動会や学習発表会など学校行事についてお子様に変化は見られますか。



● (開校前に心配なことがあったと答えた保護者※について) 現在、その心配は解消されましたか。

※開校前に心配なことがあったと答えた保護者の割合:53.5%



〈教職員の回答〉

- ・ 子ども同士の人間関係の範囲が広がり、人との付き合い方にバリエーションが増えた。
- ・ 新しい環境にはもう慣れ、落ち着いて生活することができている。石山小出身石山南小出身という気持ちもなくなり、1つの学年手段として仲良く助け合って生活する姿が見られる。
- ・ 両校からそれぞれのカラーを持って集まった児童が、互いの良さや個性を受け止め、落ち着いた生活を送ることができている。児童自らがつくる石山緑小学校としての文化も培われつつある。
- ・ 通学路変更に伴って、実際に通学路を子どもたちと歩いたり、安全マップなどを作成した。
- ・ 新しい環境に戸惑いを感じる子については、事前の校内見学を春休み中に行った。
- ・ 統合により、総合的な学習の時間など、カリキュラムがゼロスタートになり大変だった。
- ・ 開校に向けての子どもたちの引継ぎ業務、開校式・春先の行事・委員会クラブ活動・親睦会・校務分掌などの計画、運営、創設、立ち上げなど、とても忙しかった。